

天草の未来を担う子どもたちからのメッセージ



天草市立御所浦中学校
3年 長井 湧哉 さん

僕が天草市に望むことは、公衆トイレを増やしてほしいということです。なぜなら、自分が天草の地域を訪れたときに公衆トイレがなく困ったことがあったからです。人口の多い地域には、公衆ト

イレも多く、環境整備も進んでいきます。しかし、人口の少ない地域の環境整備はあまり進んでないように思います。これは、天草に観光に訪れた人たちにとっても不便なことだと思えます。環境が整っていないと、観光客も増えないと思います。僕の住んでいる御所浦も同じです。御所浦は日本ジオパークに認定されており、自然豊かで地域の人々も温かく、僕の自慢のふるさとです。多くの人に訪れてほしいのですが、不便な場所をわざわざ訪れる人は少ないのでは

ないのででしょうか。公衆トイレだけではなく、休憩所や公園、幼い子どものための場所などを設け、子育て支援の環境設備も整えておけば、子育て世代の人たちも増え、地域がより活性化すると思えます。そうすれば、天草はもっと過ごしやすく、暮らしやすい地域になると思います。天草に来てくださった方々に最高のおもてなしができるように、天草がさらに発展するように、僕は願っています。



天草市立本渡東中学校
3年 金子 壮太 さん

私が天草市に要望することは、姉妹都市であるアメリカのエンシニタス市との交流をもっと天草市全体に広げて欲しいということです。

私は夏休みに、天草市姉妹都市交流事業に参加させていただきました。私にとっては初めての海外の旅でしたが、エンシニタス市へ行くことで、多くのことを知り、多くのことを学ぶことができました。私は、学校でこの事業の話を聞くまでは、天草市の姉妹都市がエンシニタス市であるということ

を全く知りませんでした。二つの市の交流を限られた人だけで終わらせるのではなく、市全体で互いの良さをアピールしあってはどうでしょう。具体的には、「エンシニタスマルシェ」を開き特産品の販売を行ったり、エンシニタス市の料理を提供する場を設ける等して、広く市民に知ってもらう機会を作ることを提案します。私は今回の事業での経験を生かして、これからいろいろな機会に、天草市の良さも発信していきたいと考えています。



編集後記

9月22日で閉会した第3回定例会では、7月の九州北部豪雨をもたらした梅雨関連の災害復旧費も計上してある一般会計補正予算(第2号)が可決。9月議会会期中に日本列島を、九州・四国・本州・北海道の順に上陸し、とりわけ大分県・佐伯市付近に甚大な大雨被害をもたらした台風18号。事前の予報では、熊本県や天草地方も無傷では済まないだろうと懸念されましたが、第42回県民体育祭(人吉市)と各地の敬老会が影響を受けたものの、天草市内は、避難所開設程度で済みました。想定外の自然災害も多発する昨今。事前の準備・対応が大切です。平時に、家族や地域で、今一度確認しておきましょう。



天草市議会広報聴取委員会

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 柴田 誠 | 副委員長 | 蓮池 良正 |
| 委員長 | 濱洲 大心 | |
| 宮下幸一郎 | | |
| 下田昇一郎 | | |